

令和元年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる
施策の目標	区民が、趣味や教養、文化活動など、さまざまな生涯学習活動に主体的に取り組み、生きがいのある生活を送っています。また、区民の間に生涯学習の輪が広がり、自身が習得した学習成果を地域活動に活かしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「さまざまな学習活動に取り組んでいる」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					40.0%					42.0%
実績	38.1%	-	-							
指 標 名	「身近な場所で学習活動ができる」と思う区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.5%					60.0%
実績	52.0%	-	-							

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
区立図書館については、生涯学習の拠点として区民や地域の課題解決を支援し、地域の交流の場としても機能することが求められている。また、子ども読書活動についても推進していく必要がある。	H28	683,389
	H29	529,275
	H30	506,689

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	各事務事業において必要性は高い。事業においては実施の工夫等に改善の余地がある。

4 今後の施策の運営方針

一次評価	最終評価	施策の戦略的方向性
		(1) 優先的に資源投入を図る。
		(2) 現状維持とする。
○		(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
		(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】		
基本的な事業は整備されてきているが、より効果的で効率的な事業運営を図っていく必要があるため。		
【今後の具体的な方針】		
利用者ニーズに沿って幅広く受け入れられるような事業内容としていき、あわせて効率的な事業運営に取り組んでいく。		

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	図書館管理運営費	209,397	15,750	225,147	安全かつ適正な施設管理を行うことにより、来館者が快適かつ利用しやすい環境をつくる。	950,000	現状維持
						1,121,418	平成30年度
2	図書館事業費	129,873	24,609	154,482	有識者や教育関係者の専門的な知見の活用や区民の意見を取り入れながら、図書館サービスの向上を図るとともに、各種イベント等を実施していくことにより、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。	950,000	現状維持
						1,121,418	平成30年度
3	資料購入費	65,547	37,405	102,952	本事業を実施し、図書館資料を充実させ、広く区民の利用に供し、その教養・文化の発展に資することにより、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。	950,000	現状維持
						1,121,418	平成30年度
4	視聴覚資料	2,325	7,875	10,200	視聴覚資料の収集・保存を行い、広く区民の利用に供することにより、その教養と文化の発展に資する。	950,000	現状維持
						1,121,418	平成30年度
5	障害者サービス事業	2,032	20,671	22,703	障害者に応じたサービスを提供することで、希望する図書を読むことができ、生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。	200	改善・見直し
						218	平成30年度
6	図書館と学校図書館の連携事業	14,729	13,781	28,510	学校図書館の環境整備や支援を通して読書活動の推進を図ることにより、児童・生徒が情報リテラシー能力を身に付け、さまざまな学習活動に主体的に取り組んでいける環境をつくる。	38	現状維持
						36.7	平成30年度
7	子ども読書活動推進計画事業費	36,475	37,405	73,880	子どもの読書活動を推進することで、生涯にわたり学ぶことができる力を育むことを目指す。また、子どもの読書活動の推進は、家庭・地域・学校など関係機関との連携・協力のもと総合的・体系的に実現されるものであり、地域全体の生涯学習環境の醸成に資する。	16	改善・見直し
						17.2	平成30年度
8	図書館オンライン事業	46,311	17,718	64,029	図書館の効率的な運営、利用者の利便性を高める役割を担うことで、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。	430,000	改善・見直し
						500,871	平成30年度
9							

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館管理運営費					1
目 的	安全かつ適正な施設管理を行うことにより、来館者が快適かつ利用しやすい環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 (主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)					
根拠法令 関連計画	教育基本法・社会教育法・図書館法・墨田区立図書館条例等					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤7、すみだTRCグループ(指定管理館)	
事業内容	図書館施設の維持管理 緑図書館・立花図書館・八広図書館は指定管理者制度による施設運営					
経 過	開始年度		終了予定	-		
	[昭和27年] 墨田区立寺島図書館が開館(東京市立→墨田区立) [昭和32年] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成 2年] 緑図書館が緑二丁目24 - 5号に新築・開館 [平成14年] 窓口業務に一部委託導入 [平成25年] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 [平成29年] 緑・立花・八広各館に指定管理者制度導入					
議会質問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 第25回墨田区住民意識調査における「図書館」に対する満足度と重要度 ・「図書館」→満足度29.1%(1位)、重要度54.8%(3位)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		1,924,604	97,497	309,419	213,105	211,182	217,453
決算額(令和元年度は見込み)		1,923,311	92,499	261,674	207,605	209,397	217,453
財 源	国						
	都						
	その他	39	37	29	26	25	27
一般財源		1,923,272	92,462	261,645	207,579	209,372	217,426
執行率(%)		99.9%	94.9%	84.6%	97.4%	99.2%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	清掃等	7,764	役務費	清掃等	7,904	役務費	清掃等	8,120
委託料	各種機器保守	166,401	委託料	各種機器保守	170,814	委託料	各種機器保守	172,168
使用料及び賃借料	駐輪場・緑空調他	7,957	使用料及び賃借料	駐輪場・緑空調外	4,424	使用料及び賃借料	駐輪場外	3,037
工事請負費	維持補修	2,481	工事請負費	維持補修	1,513	工事請負費	維持補修・立花工事	9,072
負担金補助及び交付金	管理費・光熱水費	22,172	負担金補助及び交付金	管理費・光熱水費	23,278	負担金補助及び交付金	管理費・光熱水費	23,883

事業の成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	開館日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		342	37	目標	346	342	342	342
				実績	342	342	342	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目的に 対する指標 (成果指標)	目標	343	342	342	342	343	342
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		管理面でのトラブル等による閉館となることがないよう、図書館の開館日数を選定した。また、目標値(開館日数)としては、年間総数(365日)から条例に基づく休館日及び特別整理期間等を差し引き342日とした。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	37	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「来館者数」を指標とすることにより、図書館が生涯学習の拠点として安全かつ適正に管理運営されている施設であることが示せる。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を今後とも担えるように、施設の維持を継続する。 また指定管理館においては、引き続き図書館サービスの充実を目指す。

課題・問題点
緑図書館・立花図書館・八広図書館については、施設が老朽化していることから、適切な維持管理を努める必要がある。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館事業費					2
目 的	生涯学習の拠点として、有識者や教育関係者の専門的な知見の活用や区民の意見を取り入れながら、図書館サービスの向上を図るとともに、各種イベント等の実施により、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 (主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)					
根拠法令 関連計画	教育基本法、社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例等					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤11 (株)図書館流通センター(窓口業務)	
事業内容	非常勤職員報酬、窓口業務委託経費、図書館運営協議会の運営、すみだ文化講座等の実施、図書館ボランティアによる企画提案型事業等の実施経費					
経 過	開始年度		終了予定			
	[平成10年] すみだ文化講座第1回開始 ～ 第189回開催(平成31年3月末現在) [平成14年] 窓口業務の一部委託開始 [平成20年] 全図書館を毎月第3木曜日の館内整理日及び年末年始の休日以外の日を開館日とした。 [平成25年] 図書館運営協議会を設置 ひきふね図書館の開設に合わせて月曜日から土曜日までの開館時間を午後9時までとした。 [平成29年] 緑・立花・八広の3図書館に指定管理者制度を導入					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 第25回墨田区住民意識調査における「生涯学習の充実」及び「図書館」に対するの満足度と重要度 ・「生涯学習の充実」→満足度8.1%(14位)、重要度36.4%(14位) ・「図書館」→満足度29.1%(1位)、重要度54.8%(3位)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		262,560	260,497	263,878	165,654	130,906	135,562
決算額(令和元年度は見込み)		261,774	259,542	262,919	164,914	129,873	135,562
財 源	国						
	都						
	その他	1,296	1,193	1,060	1,206	1,050	1,206
一般財源		260,478	258,349	261,859	163,708	128,823	134,356
執行率(%)		99.7%	99.6%	99.6%	99.6%	99.2%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	窓口業務委託	117,207	委託料	窓口業務委託	117,207	委託料	窓口業務委託	121,538
報酬	非常勤職員報酬	33,317	報酬	非常勤職員報酬	33,730	報酬	非常勤職員報酬	34,888
報酬	運営協議会委員報酬	204	報酬	運営協議会委員報酬	226	報酬	運営協議会委員報酬	588
役務費	資料運搬業務委託	6,771	役務費	資料運搬業務委託	6,604	役務費	資料運搬業務委託	6,501
需用費	図書全件データの購入	3,594	需用費	図書全件データの購入	3,594	需用費	図書全件データの購入	3,627

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	イベント実施数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		300	37	目標	250	260	265	270
				実績	266	465	499	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	275	280	285	290	295	300
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館においてさまざまなイベントを実施し参加してもらうことにより、今まで図書館を利用していなかった方にも図書館を知ってもらい、今後の利用に繋がるものとする。また、目標値については、着実にイベント数を増やしていく値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	37	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能しているとする。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を担うために、更なる資料やイベント等の充実を図っていく。

課題・問題点
図書館未利用者を、イベントや講座などを通じて、図書館を利用してもらうように努める。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	資料購入費					3
目 的	区民及び区外の利用者の知る自由が保障されるように、幅広い資料にアクセスできる状態にすること。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	区民及び区外の利用者					
根拠法令 関連計画	社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区立図書館条例施行規則、墨田区立図書館資料収集要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤8、非常勤4	
事業内容	区立図書館に必要な資料として媒体別に、適切に選定・購入する。 購入実績値：図書27,055冊、雑誌10,023冊、新聞71誌、官報2館分、追録等は適宜購入、データベース8種導入					
経 過	開始年度		終了予定			
	[昭和27年] 墨田区立寺島図書館が開館（東京市立→墨田区立） [昭和32年] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成 2年] 緑図書館が緑二丁目24 - 5号に新築・開館 [平成25年] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館					
議会質問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		52,300	56,470	59,573	63,810	66,120	66,955
決算額（令和元年度は見込み）		51,017	53,751	59,161	63,630	65,547	66,955
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		51,017	53,751	59,161	63,630	65,547	66,955
執行率（％）		97.5%	95.2%	99.3%	99.7%	99.1%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	図書・雑誌等の購入	61,415	需用費	図書・雑誌等の購入	63,284	需用費	図書・雑誌等の購入	64,500
使用料及び賃借料	データベース使用料	2,216	使用料及び賃借料	データベース使用料	2,264	使用料及び賃借料	データベース使用料	2,455

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	個人貸出点数				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,680,000	令和7年度	目標	1,590,000	1,600,000	1,610,000	1,620,000
				実績	1,591,987	1,711,546	1,769,969	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,630,000	1,640,000	1,650,000	1,660,000	1,670,000	1,680,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	資料の購入と個人貸出点数は、密接な関係にあることから指標とした。なお、最終目標値は着実に個人貸出点数を増やしていく値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	令和7年度	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「来館者数」が増加していくということが、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	必要な資料を幅広く揃え続けていくことで、地域の教育、教養、文化等の発展に寄与する。

課題・問題点
ここ数年の墨田区の人口増及び墨田区立図書館の利用者増を考慮し、図書館資料の増を図る必要がある。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる			部内優先順位	
事 業 名	視聴覚資料				4	
目 的	視聴覚資料の収集・保存を行い、広く区民の利用に供することにより、その教養と文化の発展に資する。				主管課・係（担当）	
					ひきふね図書館	
					03-5655-2350	
対 象 者	区内在住・在勤・在学の方、隣接区在住の方					
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例等					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5・非常勤1	
事業内容	墨田区立図書館に必要な視聴覚資料の収集、保存、貸出等。					
経 過	開始年度	昭和50年度		終了予定		
	[昭和50年] レコード貸出開始 [昭和63年] CD貸出開始 [平成 2年] ビデオテープ貸出開始 [平成17年] DVD貸出開始					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		2,264	2,358	3,670	2,358	2,358	2,358
決算額（令和元年度は見込み）		2,228	2,356	3,555	2,342	2,325	2,358
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,228	2,356	3,555	2,342	2,325	2,358
執行率（％）		98.4%	99.9%	96.9%	99.3%	98.6%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	CD・DVD、整理用品の購入	1,813	需用費	CD・DVD、整理用品の購入	1,812	需用費	CD・DVD、整理用品の購入	1,814
委託料	マーク作成委託	522	委託料	マーク作成委託	506	委託料	マーク作成委託	537
使用料及び賃借料	ディスク研磨装置の借上	7	使用料及び賃借料	ディスク研磨装置の借上	7	使用料及び賃借料	ディスク研磨装置の借上	7

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	視聴覚資料の貸出点数				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		150,000	R7	目標	150,000	150,000	150,000	150,000
				実績	150,833	147,524	140,118	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	社会生活の変化を反映して、視聴覚資料の貸出点数は年々、減少傾向にある。名盤・名作や郷土資料など収集価値のある資料や需用の見込める資料を収集していくことにより、貸出点数を維持することを目標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	名盤・名作や郷土資料等は、区民の教養と文化の発展に資するため、引き続き適切に選定・購入していく。

課題・問題点
ネット配信サービスの普及などにより、図書館が購入できる視聴覚資料に限りがあることから、郷土資料など収集価値のある視聴覚資料の収集及び保存に努める。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事 業 名	障害者サービス事業		5
目 的	視覚障害者・高齢者等図書館や資料を利用する際に困難のある区民に対し、必要なサービスを提供するとともに、ボランティアの育成を図る。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館 03-5655-2350
対 象 者	墨田区立図書館障害者サービス実施要綱に該当する者		
根拠法令 関連計画	障害者差別解消法、墨田区立図書館条例、墨田区立図書館障害者サービス実施要綱 墨田区障害者行動計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤3 非常勤3 すみだTRCグループ
事業内容	広く区民、特に障害者等の利用に供するための事業を行う。 (1) 対面朗読サービス (2) 障害者用資料の貸出・製作 (3) 郵送サービス (4) 個人宅配サービス (5) 団体貸出サービス (6) 出張貸出サービス (7) 出張お話し会 (8) 録音図書用機材の貸出 (9) 障害者サービス(マルチメディアデージー図書など)の普及活動 (10) ボランティアの育成と研修 (11) 図書情報の発信 (12) 「図書館利用案内(手話版)」の作成		
経 過	開始年度	昭和49年度	終了予定 未定
	[昭和49年] 身体障害者サービス小委員会を設置し開催 [昭和51年] 視覚障害者への市販テープの貸出開始(資料を自宅に届ける宅配の実施) [昭和52年] 図書館の市販テープを郵送貸出開始 [昭和53年] 朗読者養成講座を開催 [昭和55年] 対面朗読サービスの開催 拡大写本講習会開催 [昭和56年] 拡大写本サービス開始 [昭和63年] 点訳者養成講座を開催 [平成2年] 漢点字講習会の開催 [平成5年] 出張貸出サービス開始 [平成14年] 紙芝居、本の読み聞かせ開始 [平成18年] デージー講習会を開催(以後毎年開催) 高齢者サービス協力者養成講座を開催(以後隔年開催) [平成23年] 自館制作の「月刊経済情報」をテープからデージー化へ [平成26年] 自館制作の雑誌をすべての雑誌をデージー化 [平成28年] 児童発達支援事業所・放課後デイサービス事業所へのサービス施行開始 [平成30年] 宅配ボランティア養成講座開始		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		2,520	2,713	2,821	2,762	2,537	2,780
決算額(令和元年度は見込み)		2,325	2,348	2,316	2,296	2,032	2,780
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,325	2,348	2,316	2,296	2,032	2,780
執行率(%)		92.3%	86.5%	82.1%	83.1%	80.1%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師等への謝礼	997	報償費	講師等への謝礼	893	報償費	講師等への謝礼	1,293
需用費	消耗品・図書の購入	333	需用費	消耗品・図書の購入	759	需用費	消耗品・図書の購入	863
委託料	外部講師委託	20	委託料	外部講師委託	20	委託料	外部講師委託	50
使用料及び賃借料	点字機器等の借上	909	使用料及び賃借料	点字機器等の借上	228	使用料及び賃借料	点字機器等の借上	429
負担金補助及び交付金	団体への年会費	41	負担金補助及び交付金	団体への年会費	41	負担金補助及び交付金	団体への年会費	41

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	障害者個人貸出点数				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		13,120	R7	目標	8,800	9,280	9,760	10,240
				実績	8,839	9,901	9,925	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,720	11,200	11,680	12,160	12,640	13,120
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	貸出点数は事業の円滑な運営の指標の一つとなることから選定した。また、目標値については、貸出点数を着実に増やしていく値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	障害者サービス登録者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		270	R7	目標	180	190	200	210
				実績	182	214	218	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	220	230	240	250	260	270
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者サービス登録者数に応じ、事業が円滑に運営されていることを確認できる。目標値については、着実に登録者数を増やしていく値とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	障害者サービスをさらに充実させるために、事業のPR及びボランティアの育成等を進めていくことにより、より多くの障害者が図書館を利用できるようにする。

課題・問題点
利用者増を図るため、普及啓発活動の強化とボランティアの育成を図る必要がある。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館と学校図書館の連携事業					6
目 的	学校図書館の環境整備や支援を通して読書活動の推進を図ることにより、児童・生徒が情報リテラシー能力を身に付け、さまざまな学習活動に主体的に取り組んでいける環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						5655-2350
対 象 者	・児童・生徒及び教員 ・区立図書館職員、指定管理者及び委託業者					
根拠法令 関連計画	学校図書館法、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画、墨田区立図書館条例					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤7	
事業内容	区内小中学校での児童・生徒の読書活動の推進を図るため、学校図書館システムの導入、学校図書館運営についてのアドバイス及び調べ学習に関する支援等を行う。 (根拠法令)学校図書館法、墨田区立図書館条例、子ども読書活動推進計画等					
経 過	開始年度	平成18年		終了予定		
	[平成18～23年] 小中学校35校に学校図書館システムを導入					
議会質問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		18,925	17,691	17,075	15,135	14,760	14,489
決算額（令和元年度は見込み）		18,368	17,379	16,817	14,992	14,729	14,489
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		18,368	17,379	16,817	14,992	14,729	14,489
執行率（％）		97.1%	98.2%	98.5%	99.1%	99.8%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	書誌データ、消耗品	1,020						
役務費	通信回線使用料	7,253	役務費	通信回線使用料	7,257	役務費	通信回線使用料	7,355
委託料	システム保守	1,903	委託量	システム保守	1,666	委託量	システム保守	1,843
使用料及び賃借料	機器借上	4,814	使用料及び賃借料	機器借上及び書誌データ使用料	5,804	使用料及び賃借料	機器借上及び書誌データ使用料	5,291

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	学校図書館連携システム稼働日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	37	目標	365	365	365	365
				実績	365	365	365	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	365	365	365	365	365	365
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。 また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないことを目標に365日とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	児童・生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数 (小学校)				単位	冊
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		40	31	目標	34	36	38	40
				実績	35.6	38.9	36.7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	学校図書館における読書活動を量的に示す指標として選定した。児童・生徒数及び校数の多い小学校を対象とした。 目標値については、墨田区子ども読書活動推進計画(第三次)における最終年度(平成31年度)の目標値を設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	学校図書館に学校司書要員を配置するほか、各学校において、区立図書館の蔵書を検索・予約可能なことから、読書を通じた学習活動を主体的に取り組むことができる環境を整える。

課題・問題点
学校図書館システムについては、今後の更新時にソフト等の見直しを行う一方、経費の削減に努める必要がある。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる				部内優先順位	
事 業 名	子ども読書活動推進計画事業費					7	
目 的	子どもの読書活動を推進することで、生涯にわたり学ぶことができる力を育むことを目指す。また、子どもの読書活動の推進は、家庭・地域・学校など関係機関との連携・協力のもと総合的・体系的に実現されるものであり、地域全体の生涯学習環境の醸成に資する。					主管課・係（担当）	
						ひきふね図書館	
						03-5655-2350	
対 象 者	0歳～18歳の子どもの及びその保護者						
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤7 非常勤13	すみだTRCグループ	
事業内容	「墨田区子ども読書活動推進計画（第3次）」に基づき、家庭、地域、学校等で子どもが読書に親しむ機会と環境を積極的に整備する。						
経 過	開始年度	昭和26年度		終了予定			
	[平成17年] 墨田区子ども読書活動推進計画 [平成22年] 墨田区子ども読書活動推進計画（第2次） [平成27年] 墨田区子ども読書活動推進計画（第3次） [平成30年] 墨田区子ども読書活動推進条例						
議会質問 の 状 況							
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和元年度、墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）策定						

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		1,925	3,419	2,754	4,769	37,870	43,002
決算額（令和元年度は見込み）		1,812	3,144	2,735	4,678	36,475	43,002
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,812	3,144	2,735	4,678	36,475	43,002
執行率（％）		94.1%	92.0%	99.3%	98.1%	96.3%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	80	報償費	講師謝礼	188	報償費	講師謝礼	238
需用費	団体貸出セット	4,009	需用費	団体貸出セット	4,022	需用費	団体貸出セット	4,812
委託料	学校図書館運営	136	委託料	学校図書館運営	31,752	委託料	学校図書館運営	37,400
使用料及び賃借料	ポブラディア	108	使用料及び賃借料	ポブラディア	108	使用料及び賃借料	ポブラディア	109

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区立図書館・図書室の延べ貸出者数(18歳以下)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		84,056	R 1	目標	76,000	78,685	81,370	84,056
				実績	76,417	79,016	80,734	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「墨田区子ども読書活動推進計画(第3次)」の数値目標のうち、18歳以下を網羅できる項目を指標として選定した。なお、基準年の実績については、平成25年度実績である。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	不読率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		15	R 1	目標	18	17	16	15
				実績	18	15.7	17.2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「墨田区子ども読書活動推進計画(第3次)」の数値目標のうち、小5の不読率を指標として選定した。なお、基準年の実績については、平成25年度の実績とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	現計画の理念・目的を引き継ぐとともに、平成30年に施行した墨田区子ども読書活動推進条例を踏まえ、これまでの取組み等を検証したうえで、第4次計画の策定をすすめ、墨田区の子ども読書活動の推進体制を強化しながら継続していく。

課題・問題点
子どもに読書習慣が身につくために、乳幼児及びその保護者への読書啓発や学校との連携による読書活動の更なる充実を図る必要がある。

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館オンライン事業					8
目 的	図書館の効率的な運営、利用者の利便性を高める役割を担うことで、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 （主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）					
根拠法令 関連計画	図書館法・墨田区立図書館条例及び施行規則 墨田区行政情報化推進計画・墨田区情報システム調達・運用ガイドライン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5	
事業内容	図書館利用者及び職員等に対し、利用サービスや業務をシステム化・オンライン化することで、サービスの質的向上や、業務の効率化を図る。					
経 過	開始年度	昭和62年		終了予定		
	[昭和62年] オンラインシステム導入開始 [平成17年] インターネットによる予約サービスを開始 [平成22年] 機器更新実施 [平成24年] ひきふね図書館開館に合わせ、システム・機器更新実施（現行システム稼働）、同年ICタグシステム導入					
議会質問 の 状 況	[平成31 予特] マイナンバーカードと図書館カードの連携について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		76,173	76,773	72,265	69,881	47,901	54,124
決算額(令和元年度は見込み)		73,982	73,290	72,813	68,818	46,311	54,124
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		73,982	73,290	72,813	68,818	46,311	54,124
執行率(%)		97.1%	95.5%	100.8%	98.5%	96.7%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	1,302	需用費	消耗品購入	1,427	需用費	消耗品購入	1,993
役務費	通信回線料金	2,725	役務費	通信回線料金	2,725	役務費	通信回線料金	2,792
委託料	システム保守委託	21,333	委託料	システム保守委託	39,704	委託料	システム保守委託	39,528
使用料及び賃借料	機器借上	43,456	使用料及び賃借料	機器借上	2,376	使用料及び賃借料	機器借上	9,811

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	図書館オンライン稼働日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	37	目標	365	365	365	365
				実績	365	365	365	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	365	365	365	365	365	365
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。 また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないことを目標に365日とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	インターネット等利用による予約受付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		510,000	37	目標	420,000	430,000	430,000	435,000
				実績	426,957	463,896	500,871	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	440,000	445,000	450,000	455,000	460,000	465,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者が本を借りる際に、電話等による予約でなく図書館webサイトでの予約が可能であることは、区民の生涯学習の場の効率的な提供に寄与していることから、この指標を選定した。 目標値は実績値等を参考に設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	図書館サービスや業務のシステム化により、効率的にかつ質の向上に努めている。

課題・問題点
安定的なシステム運用を行うために更新時にシステムの見直しを行う一方、経費の削減に努める必要がある。